保存版

八丈島津波浸水ハザードマップ基本図

津波ハザードマップについて

近年、全国において大雨による洪水などの自然災害が多発しています。島しょ地域においては、令和元年9月の台風15号により甚大な被害が発生しました。一方、南海トラフ巨大地震の発生確率は30年以内に70~80%とされ、大きな津波の発生が想定されています。

このような災害から身を守るためには、日ごろからの準備と、災害発生時には危険な場所からの避難が重要になります。

東京都は、令和4年5月25日に「首都直下地震等による東京の被害想定」を公表し、津波の予測を更新しました。

八丈町では、都が公表している津波の浸水域等の資料をもとに、災害の危険、津波警報等の情報や取るべき避難行動、避難場所等を示した津波ハザードマップを更新しました。

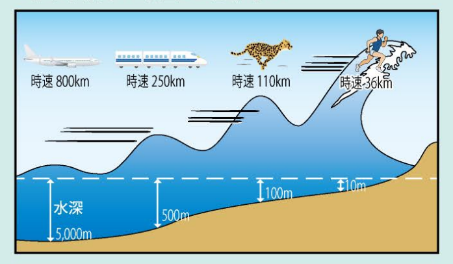
このハザードマップを使って、自分の家や学校・職場周辺の浸水リスク（予想範囲や深さ）を把握し、地震や津波の時の避難先や避難経路の確認等を日頃から家族や地域で話し合っておきましょう。また、町が実施する避難訓練に参加し、いざというときに備えましょう。

令和5年3月作成

八丈町総務課
電話：04996-2-1121

津波の特徴

●津波の速さと高さ

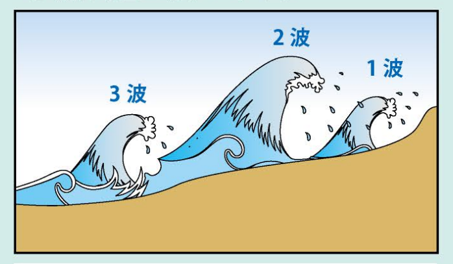


津波は、海が深いほど速く伝わります。陸地に近づくにつれて遅くなりますが、波の高さは高くなります。

●津波の高さは地形により変化する

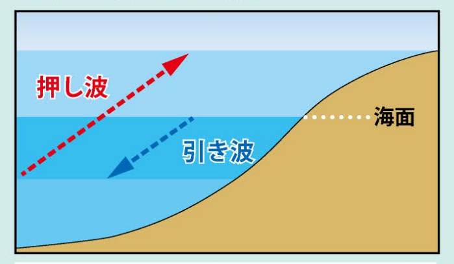
津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。

●繰り返し襲ってくる



津波は2波3波とくり返し襲ってきます。波の高さは第1波よりも第2波の方が高いことがあります。

●押し波と引き波



津波は引き波で始まる場合もあれば、押し波で始まる場合もあります。地震が起きたら、まず避難しましょう。

津波災害に備えて

① 家族会議を開こう！

家族を捜しに行って、津波にのみ込まれた事例があります。普段から安全に避難できる場所を家族で話し合っておき、その場所に家族が集まりましょう。

② 地域で話し合おう！

このハザードマップを見て、津波や津波避難について地域で話し合いましょう。普段から、津波の恐ろしさや避難の方法など災害時の行動を話し合っておくことが、いつ襲ってくるかわからない津波に対する有効な備えとなります。

③ 避難訓練に参加しよう！

人間は、過去にやったことがない行動をいざというときに取れないといわれています。避難訓練に参加し、実際に歩いて津波避難（場）所の位置や避難経路などを確認し、いざというときに備えましょう。

八丈町の事前避難対象地域の指定状況

事前避難対象地域とは？

地震発生後わずかな時間で浸水被害が生じる地域では、避難するよりも先に道路などが浸水し、避難ができなくなるおそれがあります。そのため、そうした地域では**南海トラフ巨大地震の発生する可能性が高まった時点**で、あらかじめ避難する必要があります。**南海トラフ巨大地震臨時情報（巨大地震警戒）**が発表された場合には1週間程度、安全な地域へ避難することを呼びかけます。

南海トラフでマグニチュード 8.0 以上の地震が発生
↓（巨大な後発地震発生の可能性が高いと判断）
「**南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）**」発表
↓（国からの事前避難の指示）
1週間を基準として事前避難対象地域外へ避難
十分な対策の下に屋内安全確保による在宅避難

地域指定の基準

洋望、底土、出廻、東畑、神湊東、神湊西、楊梅ヶ原下、大里1、大里2、千鳥1、千鳥2、千鳥3、千鳥4、八戸、洞輪沢
（標高30m以下の行政区）

インターネットによる防災情報の入手先

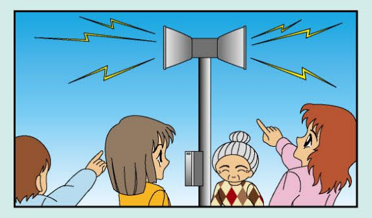
八丈町防災情報
●町内の防災に関する情報
▶https://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/soumu/bosai.html

東京都防災情報
●都内の避難場所など災害に関する情報
▶https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/

気象庁
●町内の気象や災害、洪水予報に関する情報
PC版▶https://www.jma-net.go.jp/tokyo/

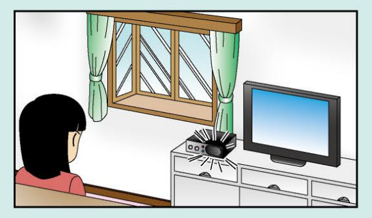
八丈町 Twitter
●八丈町防災無線に関する情報
▶https://www.town.hachijo.tokyo.jp/attention.html

津波避難時の心得



① 大津波警報には、特に注意！

津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。



② 正しい情報を聞く！

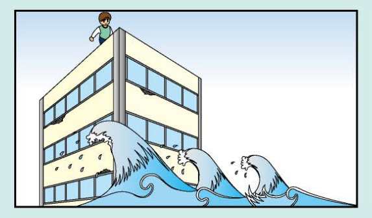
ラジオ、テレビなどから正しい情報を入手するように努め、出来るだけ冷静に行動しましょう。うわさや思い込みは、間違った行動を誘発します。

ゴゴゴゴゴ
パッ、パッ、パァーン!!

③ 徒歩での避難！

車での避難は、渋滞や事故のおそれがあり、車ごと津波にのみ込まれる危険性があります。

避難は徒歩が基本です。

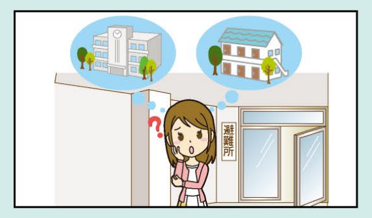


④ 高い場所へ避難する！

海岸から「より遠く」よりも、「より高い」場所へ避難しましょう。津波避難（場）所など安全な場所に逃げ遅れた場合には、近くにある頑丈で高い建物や高台に避難することを考えましょう。

⑤ お年寄りなどへの避難の協力！

お年寄りや身体に障がいをもたれた方など、手助けが必要な方がいます。ご近所で協力し合って避難しましょう。



⑥ 安全な場所から離れない！

避難した後に自宅に戻ることや 家族を探しに行くことなどは危険です。 津波警報等が解除されるまでは 安全な場所から離れないようにしましょう。

津波から身を守る最大のポイントは、**早く逃げること**です。
津波による災害の発生が予想されたら、**直ちに避難**しましょう。

大津波警報・津波警報・津波注意報の分類と取るべき行動

気象庁は、地震が発生したときには地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約３分を目標に、大津波警報（特別警報）、津波警報または津波注意報を津波予報区単位（本島は、伊豆諸島予報区に属します）で発表します。

種類	予想される津波の高さ		想定される被害	取るべき行動
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現		
大津波警報（特別警報）	**10m超**（10m＜高さ）	**巨大**	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。	**沿岸部や川（沢）沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難**してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m（5m＜高さ≦10m）			
	5m（3m＜高さ≦5m）			
津波警報	**3m**（1m＜高さ≦3m）	**高い**	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	**ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！**
津波注意報	**1m**（0.2m≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中では人は早い流れに巻き込まれます。小型船舶が転覆します。	**海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れ**てください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

※地震発生初期において、地震の規模や震源の位置が把握できない場合には、津波の高さを正確に予測することが困難であるため、津波の高さを定性的表現で発表します。

津波情報

地震（津波）発生

約3分
津波警報・津波注意報（第1報）
想定される津波の高さを「巨大」、「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。

津波情報（警報・注意報に併せて発表）
津波到達予想時刻・予想される津波の高さ
各地の満潮時刻
沿岸で観測した津波の時刻や高さ、沖合の観測値から推定される沿岸での津波の到達時刻や高さ

約15分
津波警報・津波注意報（詳細）
想定される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します。

地震発生後、津波による災害が起こるおそれがない場合には、以下の内容を津波予報で発表します。

津波注意報解除後も海面変動が継続
海に入っての作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要
0.2m未満の海面変動が予想
被害の心配は無く、特段の防災対応の必要は無い

※津波が予想されないときは、津波の心配なしの旨を地震情報に含めて発表します。

津波警報等の伝達経路

津波警報等は、下図に示すような経路で伝達されます。

気象庁
大津波警報・津波警報・津波注意報・津波情報
↓
八丈町役場（災害対策本部）
高齢者等避難　避難指示　緊急安全確保
↓
テレビ ラジオ　ホームページ　防災行政無線　広報車　消防車
↓
島民の皆さん

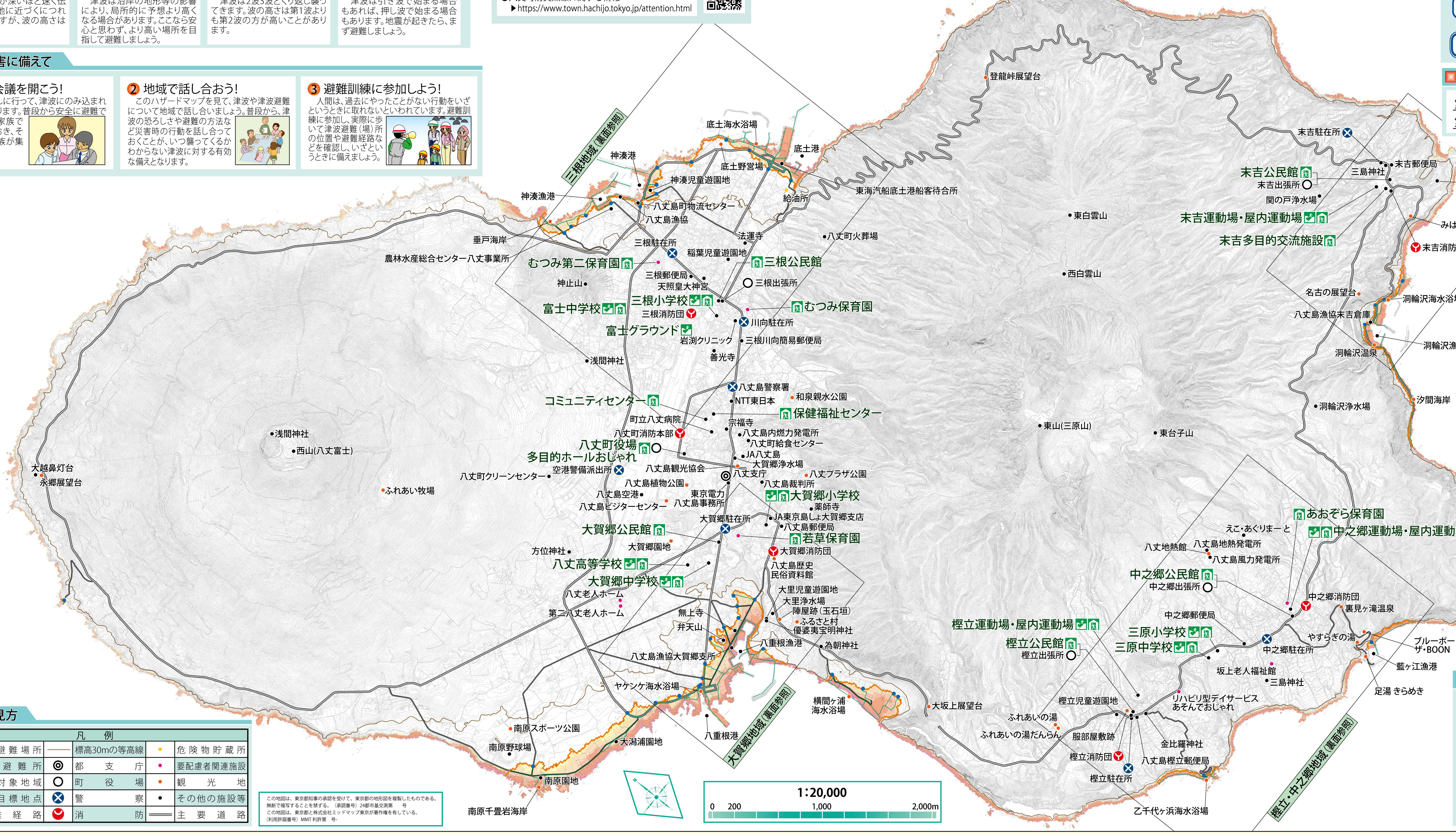
いざというときの避難先（最寄りの避難場所・避難所を書きとめておきましょう）

第１候補：＿＿＿＿＿＿＿＿
第２候補：＿＿＿＿＿＿＿＿

各地での最大津波高と到達時間

地点名	最大津波高	30cm津波高の到達時間	最大津波高の到達時間
南海トラフ巨大地震による津波			
神湊・底土海岸周辺	11.3m	19.7分	25.5分
神湊漁港	10.7m	19.7分	35.5分
神湊港	8.6m	19.7分	28.4分
汐間海岸・洞輪沢漁港周辺	14.5m	22.0分	32.4分
洞輪沢漁港	11.5m	24.0分	32.4分
乙千代ヶ浜・藍ヶ江漁港周辺	11.9m	21.0分	26.7分
中之郷漁港	11.1m	21.0分	27.9分
南原・横間海岸周辺	17.2m	6.2分	23.5分
八重根港・八重根漁港	17.2m	6.2分	26.8分
ナズマド漁港	5.4m	22.2分	23.4分
永郷地域周辺	9.0m	21.0分	23.3分
出鼻漁港	6.3m	22.4分	23.5分
島全体	17.2m	6.2分	23.3分
大正関東地震による津波			
神湊・底土海岸周辺	2.6m	33.1分	38.2分
神湊漁港	2.4m	33.1分	38.7分
神湊港	2.6m	33.5分	39.1分
汐間海岸・洞輪沢漁港周辺	2.3m	36.1分	40.9分
洞輪沢漁港	2.2m	38.7分	41.2分
乙千代ヶ浜・藍ヶ江漁港周辺	1.9m	39.1分	43.4分
中之郷漁港	1.9m	39.1分	43.5分
南原・横間海岸周辺	1.8m	32.0分	38.1分
八重根港・八重根漁港	1.8m	34.4分	43.5分
ナズマド漁港	1.6m	31.8分	37.9分
永郷地域周辺	2.1m	23.3分	37.7分
出鼻漁港	1.9m	31.5分	39.2分
島全体	2.6m	23.3分	37.7分

※各値は「首都直下地震等による東京の被害想定」(令和4年5月公表) における被害想定ケースから、最も被害が大きいものを表記しています。
※最大津波高と到達時間が、同一の被害想定ケースでない場合があります。

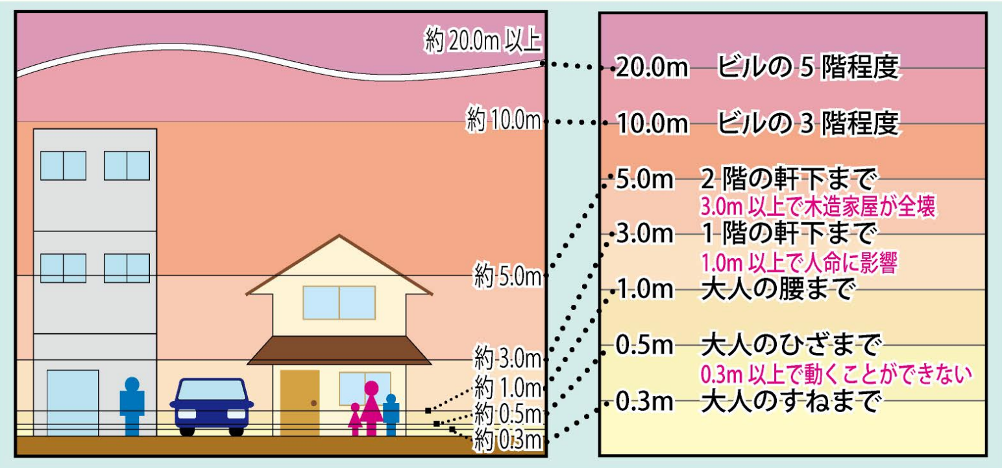


地図の見方

凡例					
🟩	津波避難場所	—	標高30mの等高線	●	危険物貯蔵所
🟩	津波避難所	◎	都支庁	●	要配慮者関連施設
—	避難対象地域	○	町役場	●	観光地
●	避難目標地点	⊗	警察	●	その他の施設等
—	避難経路	●	消防	═	主要道路

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都の地形図を複製したものである。
無断で複写することを禁ずる。（承認番号）24都市基交測第　　号
この地図は、東京都と株式会社ミッドマップ東京が著作権を有している。
（利用許諾番号）MMT 利許第　号-

津波の浸水予測

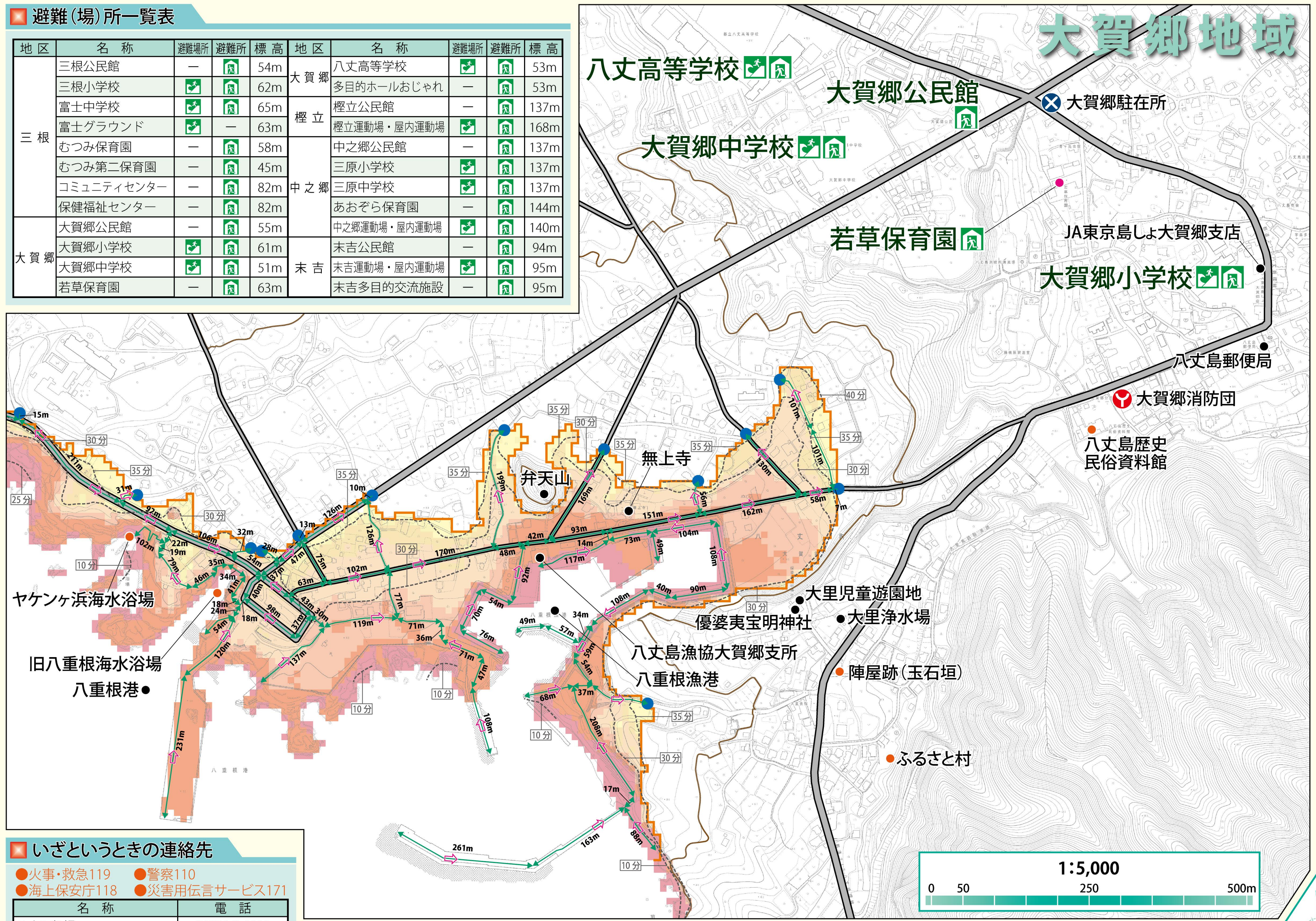


20.0m　ビルの5階程度
10.0m　ビルの3階程度
5.0m　2階の軒下まで
3.0m 以上で木造家屋が全壊
3.0m　1階の軒下まで
1.0m 以上で人命に影響
1.0m　大人の腰まで
0.5m　大人のひざまで
0.3m 以上で動くことができない
0.3m　大人のすねまで

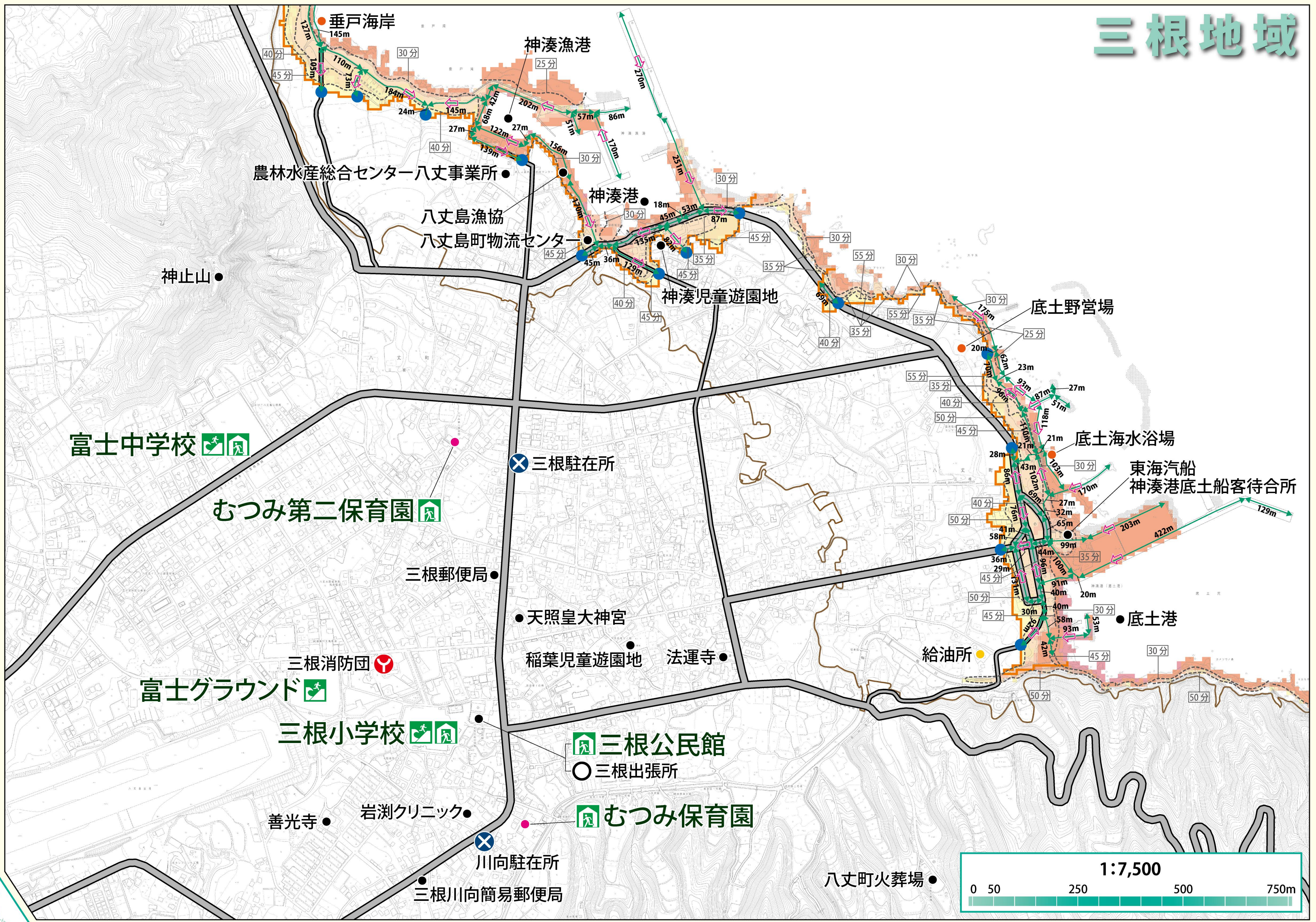
避難(場)所一覧表

地 区	名　称	避難場所	避難所	標 高	地 区	名　称	避難場所	避難所	標 高
三 根	三根公民館	ー	避難所	54m	大 賀 郷	八丈高等学校	避難場所	避難所	53m
	三根小学校	避難場所	避難所	62m		多目的ホールおじゃれ	ー	避難所	53m
	富士中学校	避難場所	避難所	65m	樫 立	樫立公民館	ー	避難所	137m
	富士グラウンド	避難場所	ー	63m		樫立運動場・屋内運動場	避難場所	避難所	168m
	むつみ保育園	ー	避難所	58m	中 之 郷	中之郷公民館	ー	避難所	137m
	むつみ第二保育園	ー	避難所	45m		三原小学校	避難場所	避難所	137m
	コミュニティセンター	ー	避難所	82m		三原中学校	避難場所	避難所	137m
	保健福祉センター	ー	避難所	82m		あおぞら保育園	ー	避難所	144m
大 賀 郷	大賀郷公民館	ー	避難所	55m		中之郷運動場・屋内運動場	避難場所	避難所	140m
	大賀郷小学校	避難場所	避難所	61m	末 吉	末吉公民館	ー	避難所	94m
	大賀郷中学校	避難場所	避難所	51m		末吉運動場・屋内運動場	避難場所	避難所	95m
	若草保育園	ー	避難所	63m		末吉多目的交流施設	ー	避難所	95m

大賀郷地域



三根地域



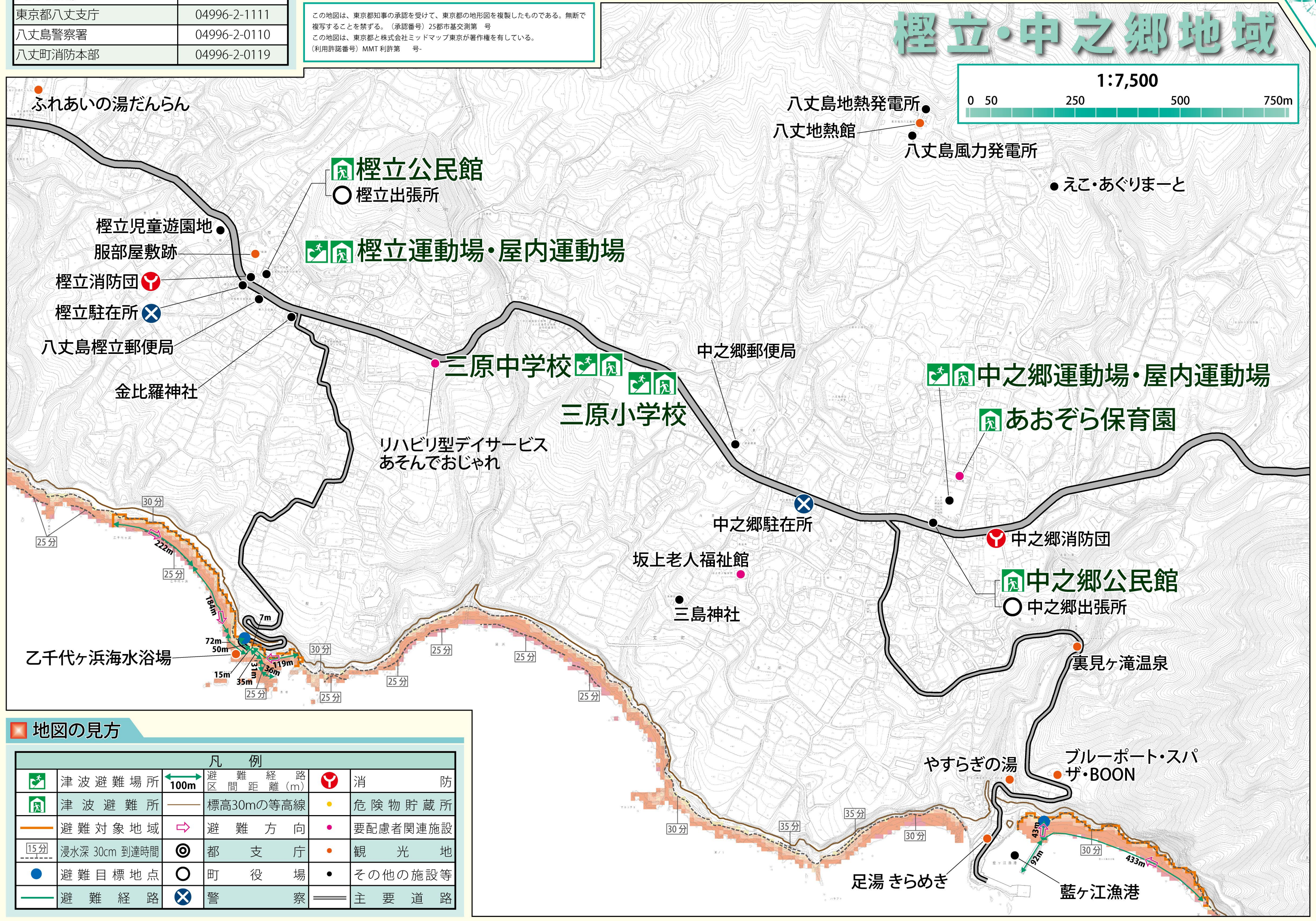
いざというときの連絡先

- 火事・救急119
- 警察110
- 海上保安庁118
- 災害用伝言サービス171

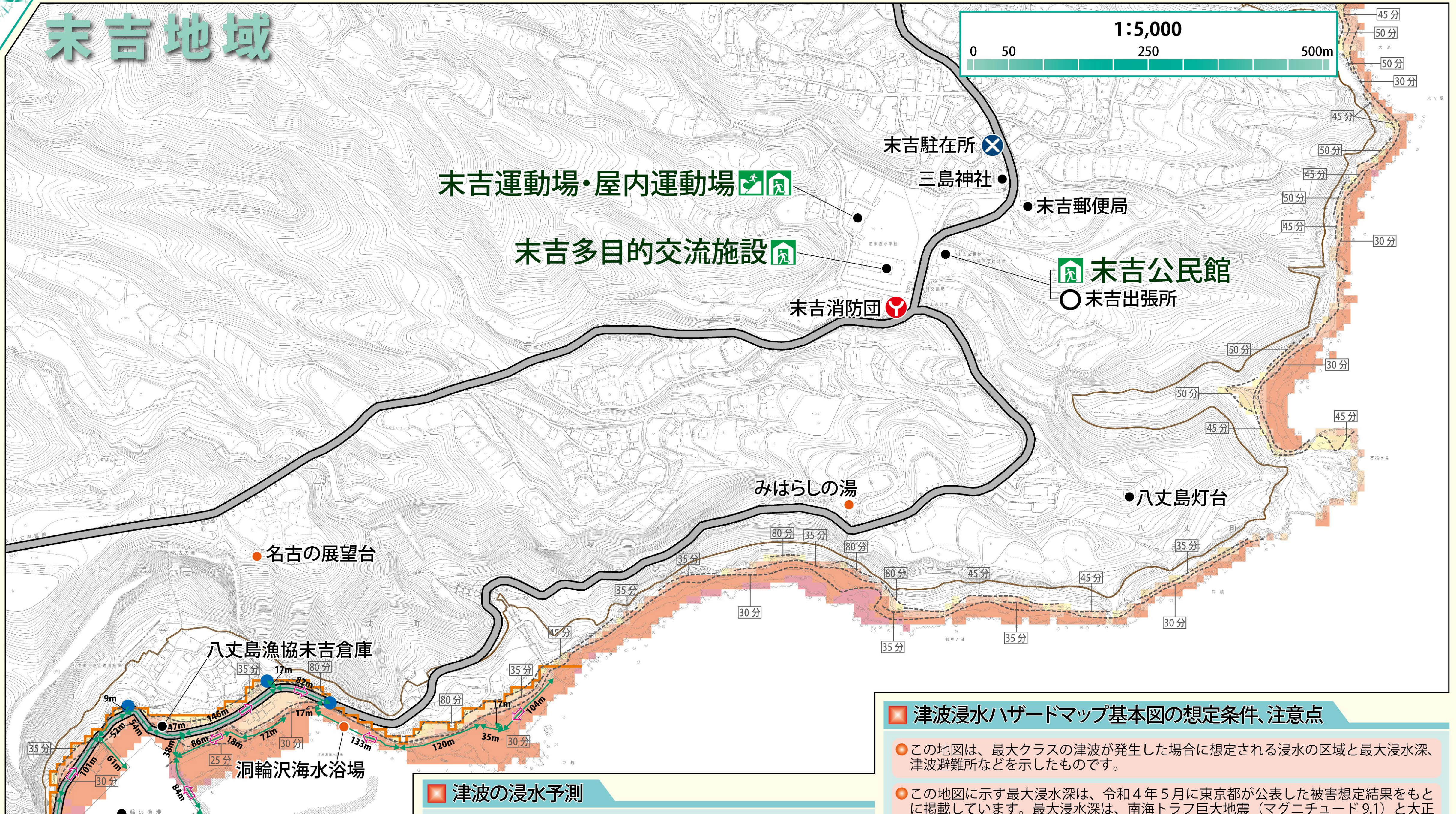
名　称	電　話
八丈町役場	04996-2-1121
東京都八丈支庁	04996-2-1111
八丈島警察署	04996-2-0110
八丈町消防本部	04996-2-0119

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都の地形図を複製したものである。無断で複写することを禁ずる。（承認番号）25都市基交測第　号
この地図は、東京都と株式会社ミッドマップ東京が著作権を有している。
（利用許諾番号）MMT 利許第　　号-

樫立・中之郷地域



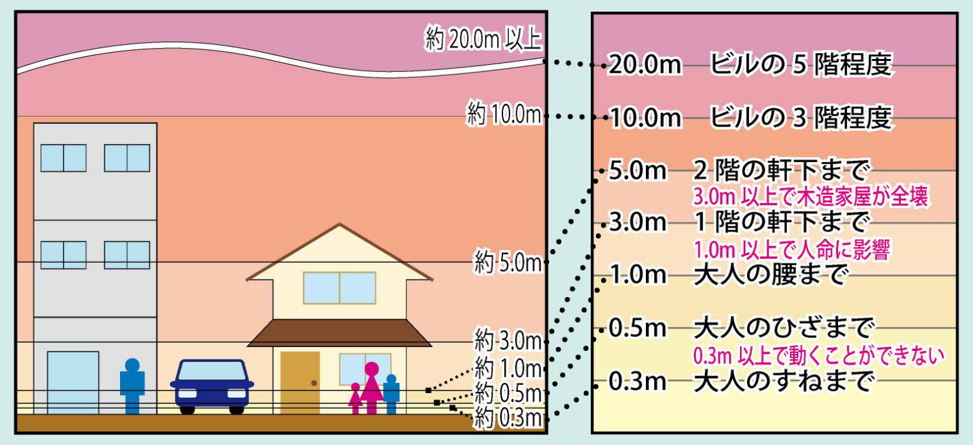
末吉地域



地図の見方

凡　例					
津波避難場所	津波避難場所	↔ 100m	避難経路区間距離（m）	消防	消防
津波避難所	津波避難所	―	標高30mの等高線	●	危険物貯蔵所
―	避難対象地域	⇨	避難方向	●	要配慮者関連施設
15分	浸水深 30cm 到達時間	◎	都支庁	●	観光地
●	避難目標地点	○	町役場	●	その他の施設等
―	避難経路	⊗	警察	═	主要道路

津波の浸水予測



20.0m	ビルの5階程度
10.0m	ビルの3階程度
5.0m	2階の軒下まで
	3.0m以上で木造家屋が全壊
3.0m	1階の軒下まで
	1.0m以上で人命に影響
1.0m	大人の腰まで
0.5m	大人のひざまで
	0.3m以上で動くことができない
0.3m	大人のすねまで

津波浸水ハザードマップ基本図の想定条件、注意点

- この地図は、最大クラスの津波が発生した場合に想定される浸水の区域と最大浸水深、津波避難所などを示したものです。
- この地図に示す最大浸水深は、令和４年５月に東京都が公表した被害想定結果をもとに掲載しています。最大浸水深は、南海トラフ巨大地震（マグニチュード 9.1）と大正関東地震（マグニチュード 8.2）に伴う津波による浸水深をシミュレーションして、各地点でもっとも深くなる浸水深として設定しています。
- 最大津波高の到達時間は、地震発生後約 23 分と想定されていますが、津波の影響は、早いところで約６分後に出始めるため、速やかに安全な場所に逃げてください。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見をもとに、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間よりも早く津波が到達したり、最大浸水深がより深くなる可能性があります。